

2017年2月吉日

お客様 各位

ダウ化工株式会社  
技術・開発本部 製品技術部

建築物エネルギー消費性能基準への適合義務対象建築物に係る留意点について（お願い）

各位におかれましてはご周知のこととは存じますが、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）の施行により、平成29年4月以降は、2,000m<sup>2</sup>以上の非住宅建築物について、省エネ基準適合が義務付けされます。

これに伴いまして、本件に係る建築物（義務対象建築物）は設計図書において、省エネ基準に係る建材や設備仕様等を明示すると同時に、工事監理者は設計図書に示された建材や設備の仕様等の通りに実施されていることを確認することが必要となります。

❖具体的な確認方法

時期	確認項目	具体的な確認方法
納入前	材質、施工範囲等	施工計画書（断熱材）に係る書類の確認
材料納入時	材質、厚さ等	目視による立会い確認、納入伝票等に係る書類確認
施工後	厚さ等	目視による立会い確認、施工記録書、施工完了報告書等による書類確認

このようなことから、設計図書と建材の性能を証明する書類の表示名等の一致が必須となります。以下に示します、設計図書の記載内容例を参考に「[スタイロフォーム](#)」（押出法ポリスチレンフォーム断熱材）をご用命頂ければ幸いに存じます。

❖設計図書等の記載例

設計図書の記載内容	確認事項
＊熱伝導率等の熱性能が規格等で規定されている断熱材を用いた場合 ◎断熱材の種類 ◎適合する規格 ◎施工部位・厚さ	●断熱材の種類 ●施工部位・厚さ
<p>【 施工計画書の記載例 】 押出法ポリスチレンフォーム断熱材</p> <p>3. 材料仕様</p> <p>3-1 押出法ポリスチレンフォーム断熱材</p> <p>ダウ化工株式会社</p> <p>1) 製品名 : スタイロエース-Ⅱ</p> <p>2) 一般名称 : <u>押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 b A (XPS 3 bA)</u></p> <p>3) 適用規格 : <u>JIS A 9521 或いは JIS A 9511</u></p> <p>4) 標準寸法 : <u>50mm×910mm×1820mm</u></p> <p>5) 熱伝導率 : <u>0.028 (W/m・K) 以下</u></p> <p>3-2 施工範囲</p> <p>●<u>外壁</u></p>	

チェックポイント  
 ○JIS 品質種類、記号

チェックポイント  
 ○適合する JIS 規格

チェックポイント  
 ○断熱材の厚さ

チェックポイント  
 ○熱性能

チェックポイント  
 ○施工部位

- \* スタイロフォーム (JIS マーク表示認証品) には、3-1 項に係る表示が製品に印刷されています。
- \* スタイロフォームの製品名に対し、厚み、一般名称及び性能の確認が可能となる記載をして下さ。
- \* スタイロフォーム製品名と JIS 品質種類、記号、熱性能値は下表を参照頂き、記載ください。

JIS 規格・種類	J I S A 9 5 1 1 : A 種押出法ポリスチレンフォーム保温板							
	J I S A 9 5 2 1 : 押出法ポリスチレンフォーム断熱材							
製品名	スタイロフォーム IB	スタイロフォーム B2	スタイロエース-Ⅱ	スタイロフォーム AT	スタイロフォーム EX	スタイロフォーム FG	スタイロフォーム EK-Ⅱ	スタイロフォーム GK-Ⅱ スタイロフォーム RB-GK-Ⅱ
JIS A 9511	1種 b	2種 b	3種 b	3種 b	3種 b	3種 b	3種 b	3種 b (スキン付き)
種類・記号	A-XPS-b-1b	A-XPS-b-2b	A-XPS-b-3b	A-XPS-b-3b	A-XPS-b-3b	A-XPS-b-3b	A-XPS-b-3b	A-XPS-b-3b
JIS A 9521	1種 b C	2種 b A	3種 b A	3種 b A	3種 b C	3種 b D	3種 b A	3種 b A
種類・記号	XPS1bC	XPS2bA	XPS3bA	XPS3bA	XPS3bC	XPS3bD	XPS3bA	XPS3bA
熱伝導率 W / (m・K)	0.036 以下	0.034 以下	0.028 以下	0.028 以下	0.024 以下	0.022 以下	0.028 以下	0.028 以下